

大山町のごみ事情 ⑥

小学生の社会科見学感想文より



名和クリーンセンターでは毎年、小学4年生の社会科見学の受入れを行っています。児童は、施設見学を通してごみ処理の仕組みやごみの行方について学びます。また、職員の話聞き、焼却の様子や混入した多くの不燃ごみを実際に見たりすることで、ごみの多さや分別の大切さに気づく機会になっています。

児童から送られた感想文の一部をご紹介します。

先日は、名和クリーンセンターの仕組みを教えてください、ありがとうございました。僕は、燃えないごみを燃えるごみと一緒に出すとクリーンセンター側はとても困ることがわかりました。

(大山小4年 遠藤篤人さん)

私が見学して一番すごいなと思ったことは、燃えるごみを燃やしてできた灰を三重県に持っていくことです。理由は、灰をまた違うものにしてごみを増やさないようにしているからです。

(名和小4年 保田夏帆さん)



はい！消費生活相談窓口です

冬季に多発

入浴中の事故にご注意ください！

いい湯だな～



***入浴前に脱衣所、浴室を暖めておきましょう！**

Q：高齢者の入浴中の事故は、どれくらいおきているんですか？

A：消費者庁は、高齢者の事故防止の取り組みを進めるために、厚生労働省などの調査を基に事故状況の分析を行いました。

平成23年以降、家・居住施設での浴槽における死亡者数は、交通事故で死亡した高齢者よりも多くなっています。(平成28年データでは、3,061人が交通事故、4,821人が家や居住施設の浴槽で死亡)

Q：どんなことに注意をしたらいいのでしょうか？

A：部屋と脱衣所・浴室の温度差を小さくして、浴槽からはゆっくり出しましょう！

- ①入浴前に脱衣所や浴室を暖めましょう。
- ②湯温は41度以下、湯につかる時間は10分までを目安に。
- ③浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう。
- ④食後すぐの入浴、またアルコールが抜けていない状態での入浴はひかえて。
- ⑤精神安定剤、睡眠薬などを服用後の入浴は危険ですので注意しましょう。
- ⑥入浴する前に同居者に一声かけて、見回ってもらいましょう。

◆ お気軽に消費生活相談窓口をご利用ください ◆

住民課 ☎ 0859-54-5210 (平日) 鳥取県消費生活センター ☎ 0859-34-2648 (平日・土日)